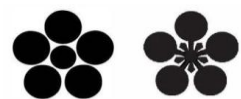


小坂新調屋台(四代目)の紹介



屋台本体	毛利工務店	四本柱芯：2尺7寸
露盤、狭間 彫刻	//	水切り巾：1,720mm
幕、高欄掛け	//	全長：7,000mm
鋳金具	竹内鋳金具店	全巾：2,500mm
漆塗り	小田一心堂	全高：4,200mm

屋根(三段垂木)

総才端(逢坂)



垂木(三方透かし)



井筒端



正角 * 枺組



(国主神社)



高欄(男柱)
御飯松と国主神社



吽(左)、阿(右)



姫路市で二番目に古い
(金比羅社 古狛犬) ↑

紋(梅鉢と星梅鉢)



高欄掛(退治物)



露盤(先代屋台と同様)



幣額

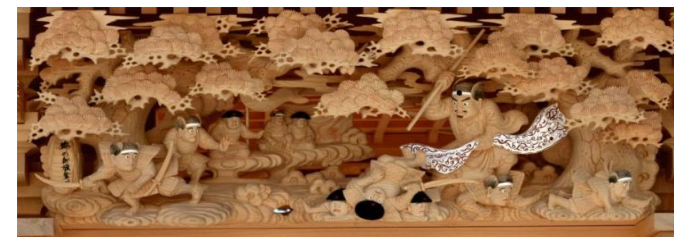


狭間(三面は二代目屋台の狭間図柄にしました。)

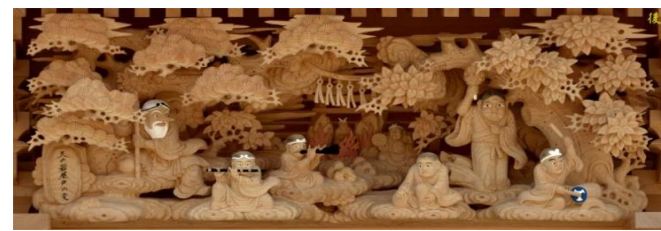
前面(菅原道真公遊歩の場)



右面(布引滝四段目小桜責め)



後面(天の岩屋戸の変)



左面(錦の御旗奪還)



昇総才



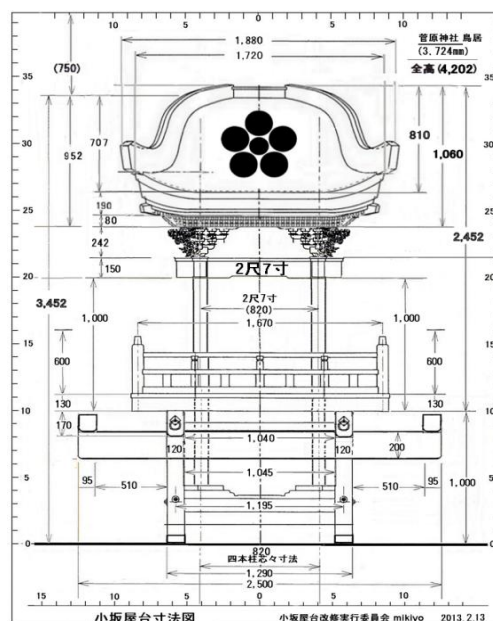
鶴



飛龍



幕 龍二頭(阿吽)



水切り=古狛犬



小坂屋台の歴史

一代目 明治26年 8月(1893) 宇佐崎村より購入。
二代目 昭和 8年 4月(1933) 小坂大屋台新調 廣村 金井大工。
三代目 昭和56年 (1981) 小坂屋台大を新調 制作 川村治郎。
四代目 平成26年10月(2014) 小坂大屋台を新調 制作 毛利工務店。